



YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信

第2号 令和5年10月13日発行



第2回学校運営協議会 ～熟議っておもしろい！～

9月27日に第2回学校運営協議会が行われ、学校運営協議会委員のほか、福祉施設や行政、企業の方、保護者、本校職員が参加し、「ゆり支援の子どもを地域の方に知ってもらうには」をテーマに、グループに分かれて話し合う熟議を行いました。様々な角度からいただいたたくさんの御意見が、ミックスジュースのように素敵な味わいを醸し出し、「熟議」の面白さを皆様と共有することができました。準備や進行に御協力いただいた秋田県生涯学習センターの方々、参加者の皆様ありがとうございました。



熟議カフェ ～イウペ・キクペ～

第1ラウンド ～子どもたちを知ってもらうにはどうしたらいいか～

一般の人と参加できるコンサートや合唱団で歌ったり踊ったりして交流できるといい。



人が集まるスーパーや施設で、学校紹介をしたり作品展を開いたりする。



地域の小・中学校と合同でCSを開催してみる。



町内会と学校がゴミ拾いなどボランティア活動を一緒にしてみたい。

早い時期からどんどん地域に出掛けたり、居住地校交流を行ったりする。



第2ラウンド ～1ラウンドで話したことを共有しよう～

企業から学校へ来てもらい、休み時間も共にして普段の児童生徒の様子を見てもらう。



学校、企業、行政などがコラボする。当社では、元気な挨拶を大切にしている。

地域の行事に参加したい。

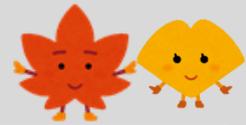
ホームページの充実、YouTubeの配信などSNSやケーブルTV、教育委員会便りを活用した



福祉施設とコラボしてお祭りやイベントを開催し、出店や活動紹介をする。



第3ラウンド ～熟議で心に残ったことを共有しよう～



早い時期からの交流

- ・幼少期からの交流の積み重ねが大切
- ・早い時期から地域の方と触れ合ったり、居住地校交流をしったりする。

コミュニケーションの機会

- ・挨拶で互いに言葉を掛け合う。
- ・ボランティア活動を町内・学校合同で行う。
- ・社会性を身に付けるお手伝いをしたい。

企業が学校へ

- ・企業が学校訪問し、ありのままの児童生徒の様子を見てもらう。

SNS情報発信

- ・知ってもらうために情報発信
- ・行事などの予告や宣伝も発信

コラボレーション

- ・福祉施設や事業者とイベントをコラボ
- ・イベントに参加して交流
- ・イベントでコラボ販売

参加者の皆様からの感想



グループを入れ替えて協議をしたことで、自分以外の立場の方の視点、意見を知ることができ、大変勉強になりました。特に、挨拶など基本的な事が地域交流につながるという考え方が今までなく、気付かされました。

小学部保護者

地域の方や企業の方、施設の方などと直接会ってお話を聞けました。親身になって子供たちのことを考えてくださっていることが伝わり、すごく嬉しく思いました。

中学部保護者

挨拶をしたり、企業さんとコラボ販売会をしたりすることで顔や特性を知ってもらう機会になる。周りの人に子供の接し方を理解してもらうことで、親の気持ちが軽くなる。

いろんな体験をさせたい親と体験を受け入れたい企業、お互い思っていることを聞いてよかったです。

また、早期にいろいろな人に知ってもらうことの大切さを痛感しました。

高等部保護者

特に二つのことに関心をもった。一つ目は、「企業が学校へ」という意見である。これまで生徒が企業へ出向き、企業を知ることが当たり前に行われていたので、新しい発想だと感じた。二つ目は、「コミュニケーション」である。人と関わることは学校や企業関係なく必要なことだと思うので、自分から積極的に挨拶をしたり、触れ合ったりすることが大切だと感じた。

熟議で学んだことを児童や生徒の支援・指導に生かしていきたい。

本校職員

たくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。今後、学校が地域の皆様と成長していけるよう、御意見を学校運営に反映させていきたいと考えています。